（別添）

令和７年度 戦後 80 年特別企画展

しょうけい館証言映像展

証言がつなぐ あの日の記憶

開催趣旨

戦後 80 年を迎えた今年、戦争を体験した世代の高齢化は進み、いよいよ戦争体験者不在の時代が到来しつつあります。戦争体験の継承がますます重要な課題となる中で、彼らの体験を知る方法の一つに、証言映像があります。

当館は、戦傷病者やそのご家族、軍医や従軍看護婦などの医療関係者などを対象に、これまでに約 200 本の証言映像を収録してきました。証言映像は、体験の内容はもちろんのこと、それを語りかける表情に至るまで記録されているため、より実感をもって彼らの体験や思いに触れることができます。

本展では、映像を収録した証言者をパネルで紹介するほか、証言者から寄贈された資料を展示します。また、証言映像の上映も行いますので、ぜひ生きた声を通して戦傷病者について知ってもらえればと思います。

主　　催	しょうけい館(戦傷病者史料館)
会　　期	令和７年 10 月 15 日(水)～令和８年３月１日(日)
会　　場	しょうけい館　２階企画展示室
入 館 料	無料
開館時間	10:00～17:30(入館は 17:00 まで)
休 館 日	毎週月曜日・令和７年 11 月４日(火)・11 月 25 日(火)・12 月 28 日(日)～令和８年１月４日(日)・１月 13 日(火)・２月 24 日(火) ※令和７年 11 月３日(月)、11 月 24 日(月)、令和８年１月 12 日(月)・２月 23 日(月)は開館
問い合わせ先	しょうけい館　TEL:03-3234-7821　担当:西尾 取材を希望される際は事前に連絡をお願いします。

※無断転載禁止

SHOKEI-KAN しょうけい館 戦傷病者史料館 Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers,etc.

展示内容

当館がこれまでに証言映像を収録した戦傷病者証言をパネルで紹介するとともに、証言者から寄贈された資料を展示します。

義手（装飾用義手）

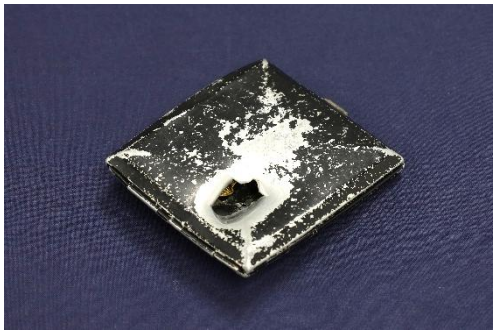
右腕を切断した戦傷病者が使用していた義手。この方は自身の左腕一本で仕事をすることができましたが、仕事の時や歩行のバランスを取るためにも義手が必要でした。

足補助器具

脚の長さを補うための補装具。これを使用していた戦傷病者は、手術により右脚が6cm も短くなってしまったため、脚の高さを揃えるために使用しました。

煙草ケース

戦闘で負傷した際にズボンのポケットに入れていた煙草ケース。銃弾は金属製の煙草ケースを貫通し、太ももの骨を砕く重傷を負わせることとなりました。



義眼

両目を負傷した戦傷病者が使用していた義眼。箱に書かれている「御賜」の文字は、この義眼が皇室より賜ったものであるということを示しています。

尺八

脊髄損傷の戦傷病者が、箱根療養所への入所中に製作した尺八。この方は出征前に竹材を扱う店で奉公していたこともあり、半身不随でありながらも器用に工芸品を製作することができました。

義指

凍傷で失ってしまった戦傷病者が指を補うために使用していた義指。装飾用であり、使用しても指としての機能が得られる訳ではないため、この方が元々していた車掌の仕事を諦め、戦後は新しい仕事を探さざるを得ませんでした。

バール、げんのう、ヤスリ

両腕を切断した戦傷病者が戦後に使用していた大工道具。この方は、特殊な手術を受けたことで物を挟んで持てるようになり、不自由な腕でありながらも大工道具を器用に使いこなし、建物に板を張るくらいの作業はできたそうです。

義手

右手を失った戦傷病者が戦後に使用していた義手。この方によれば、日常生活や仕事では着けているとかえって邪魔になるため、あまり使用しなかったそうです。

証言映像上映

内容：企画展で紹介している戦傷病者の証言映像を順次上映します。

場所：しょうけい館　2 階企画展示室内

映像タイトル	時間
人間の尊厳の回復につくした生涯	33 分
家族の絆で支え合う	16 分
二人で一人、傷痍軍人の妻として	10 分
失明の夫を支えて	19 分
がむしゃらに生きて、描く	18 分
療養所は大きな家族～支えあい、助けあい～	10 分
受傷した身にまた召集が	10 分
義足と妻に支えられて	24 分
生きる･･･それは死ぬよりつらかった	10 分
努力家の夫を信じて～失明の夫とともに～	18 分
16 歳で右手を失って	15 分
シベリア珪肺～今も続く後遺症～	19 分
小学校を出て先生に	16 分

総集編映像上映

内容：これまでに当館が収録してきた証言映像を、テーマごとに再編集した総集編映像を上映します。

場所：しょうけい館　2 階シアター

※団体プログラム等によって、上映内容を変更・休止する場合があります。